

科目		動物外科看護学実習Ⅱ		
担当講師 横山 敏治 実務経験有 獣医師 大学卒業後動物病院に10年間勤務し動物医療に従事				
開講年次	授業形態	選択/必修		授業時間
動物看護学科 2年次前期、後期前半	実習	必修		45
<b>授業目標</b> 手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。				
<b>授業概要</b> 麻酔準備、モニタリング、術後の管理、去勢避妊手術時におけるスキルと看護法等を学ぶ。				
<b>成績評価の方法</b>  成績評価の方法 評価の基準は実習レポートと筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。				
<b>教材</b> 動物看護コアテキスト6巻（P2～P66 ファームプレス） 動物看護実習テキスト（P206～P255 インターズー）				
<b>授業計画</b> 毎週水曜日 3限目 13：20～14：50 4限目 15：00～16：30				
回	授業内容			
1	麻酔記録①	麻酔記録の意義、麻酔覚醒とは、抜管基準、正常と異常を理解する		
2	麻酔記録②	外科手術をを補助するために必要な基礎知識		
3	術後管理①	術後の創傷管理、疼痛管理、安静、環境		
4	術後管理②	安静、環境、術後の栄養管理		
5	去勢手術実習へ向けての シュミレーション	去勢手術の術式確認、手順、術前準備、消毒、縫合糸の種類、モニター準備、装着、麻酔器、挿管、血管確保、抗生剤		
6	避妊手術実習へ向けての シュミレーション	避妊手術の術式確認、手順、術前準備、消毒、縫合糸の種類、モニター準備、装着、麻酔器、挿管、血管確保、抗生剤		
7	去勢手術に向けての術前準備①	器具、ドレープ準備		
8	去勢手術に向けての術前準備②	手術動物の管理、術前検査、術前看護、獣医師への報告		
9	去勢手術（犬、猫）①	前処置、麻酔導入、挿管、モニター装着		
10	”	術野消毒、手指消毒、術着と手袋の装着		
11	”	器具出し、モニター管理、術後看護、術創管理		
12	”	去勢手術実習の振り返り		
13	避妊手術（犬、猫）	前処置、麻酔導入、挿管、モニター装着		
14	”	術野消毒、手指消毒、術着と手袋の装着		
15	避妊手術（犬、猫）	器具出し、モニター管理、術後看護、術創管理		
16	”	避妊手術実習の振り返り		

17	まとめ（実技試験対策）	手術の一連の流れを実践する
18	”	手術の一連の流れを実践する
19	”	手術の一連の流れを実践する
20	”	手術の一連の流れを実践する
21	”	手術の一連の流れを実践する